

山口県立大学附属周防大島高校を活用した協定を締結

令和8年4月の山口県立大学附属周防大島高等学校の開校に伴い、令和3年4月に締結した「公大高による包括的連携協力に関する協定」が廃止され、3月18日、公立大学法人山口県立大学と周防大島町による「山口県立大学附属周防大島高等学校を活用した包括的連携協力に関する協定」が締結されました。

これにより引き続き、大学と行政がそれぞれの強みを生かしながら連携を深めるとともに、大学からの積極的な支援により地域に根差した新しい教育と地域づくりのモデルの構築に取り組んでいきます。



▲公立大学法人山口県立大学 岡正朗理事長㊦と藤本浄孝町長

「山口大島ゆめほっぺ」初荷出発式

3月17日、周防大島柑橘選果場で令和7年産「山口大島ゆめほっぺ」の初荷出発式が行われました。

山口県柑橘つ振興センターで「清見」と「吉浦ポンカン（山口県産）」を掛け合わせて育成した、山口県オリジナル柑橘である「せとみ」の中でも、糖度13.5度以上、酸度1.35%以下のものを「ゆめほっぺ」として出荷されます。

今年は表年ということもあり、多くのゆめほっぺ（せとみ）が山口県内を中心に出荷される予定です。



▲選果作業の様子

サザン・セト大島少年サッカー大会

3月28日、29日、周防大島町陸上競技場と長浦スポーツ海浜スクエアを会場に第29回サザン・セト大島少年サッカー大会が開催されました。

今年も県内外から32チームが集結し、2日間熱い戦いを繰り広げました。また6年生にとっては小学生最後の大会であり、大会終了後に家族や監督、コーチへ感謝を伝える姿も見られ、とても感動的でした。

なお、川棚フットボールクラブ（山口県）と安浦サッカースクール（広島県）の決勝戦は、延長戦の末、一点を奪った川棚フットボールクラブが初優勝を飾りました。



▲サッカー大会決勝の様子

周防大島みかんカレッジ初の修了式

3月25日、JA山口県周防大島統括本部で「周防大島みかんカレッジ」の修了式が行われました。

「周防大島みかんカレッジ」は、栽培に必要な基礎技術・知識の習得、地域内の先進農家での実践研修等の総合的な担い手育成を行うため、昨年7月に開校しました。

修了式の中で、最初の卒業生となった菅野洋太郎さんは、「食べた人に喜んでもらえる美味しいみかんを作りたいという初心を忘れずに、これからみかん作りに取り組んでいきたい」と意気込みを語りました。



▲最初の卒業生となった菅野洋太郎さん㊦